

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190201251		
法人名	社会福祉法人パートナー		
事業所名	グループホームハートの家七番館 1階		
所在地	札幌市北区屯田9条9丁目6-3		
自己評価作成日	令和4年2月5日	評価結果市町村受理日	令和4年3月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigvsoyoCd=0190201251-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigvsoyoCd=0190201251-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和4年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日常の職員との会話から働きやすい環境づくりに力を入れています。その為職員の退職率も少ないです。  
日々、業務に追われることなく、入居者様との関わりもできております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

閑静な住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。周辺には学校、保育園、スーパー、高齢者施設等があり、バス停も近い。施設の裏には小川と遊歩道があり、近くの公園への散歩を楽しむことができる。建物は清潔で、エレベーターやエアコン、車いす対応のトイレなど設備が整っている。共用空間中心部の職員スペースに長めのカウンターを設置し、職員が利用者の見守りや記録類の作成をし易くしている。感染症の流行により地域との交流が難しくなっているが、以前は近くの保育園児との交流や関連施設との合同行事への参加などが活発に行われていた。現在も保育園児との間接的な交流が続いており、地域とは感染症収束後の交流に向けた話し合いを始めている。ケアマネジメントの面では、フェイスシートやセンター方式のアセスメントシートの他、利用者の生活歴や趣味などを詳しく記したシートにより暮らし方の希望を把握し、日々の支援に活かしている。介護記録や受診記録、家族との相談記録をパソコン上で管理し、いつでも情報を共有できるようにしている。排泄の自立支援の面では、個々の排泄パターンを把握し、なるべくトイレで排泄できるよう適切な声かけや状態に応じた介助を行っている。快適な環境と充実した設備、適切なサービスのもと、利用者が安心して生活できるグループホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域に根ざし、共に生き共に感じ合い、共に喜びあえる暮らしを創りつづける」と言う施設開設時の理念に基づき、入居者様に寄り添い、安心して暮らせるよう、職員間で話しあい、より良い方法を日々検討している	最近改定された法人のグループホーム共通の理念があるが、今後、事業所独自の理念を作る予定としている。法人の理念、事業所独自の理念ともに、共有と実践を進める方針である。	以前の法人の理念に地域との関わりを表す文言があり、新たな独自の理念も地域密着型サービスを意識したものを制定し、共有と実践を進めることを期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの感染対策で地域の方との交流が難しくなっているが、町内清掃や近隣の保育園との交流で直接的ではなくても、地域の方との連携を図れるように取り組んでいる。	感染症流行前は町内会の行事や近くの関連法人との合同行事で活発に交流していた。今も近くの保育園児より、手紙や行事のビデオ、手作り装飾の提供を受けている。感染症収束後の交流再開について、地域の方と話し合いをしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ感染対策の為地域の方との直接的な交流が出来ず、積極的な支援方法の提案などは出来ない。感染対策を実施しながら地域の人に向けて支援方法等を伝えていける方法を検討している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染対策の為地域の方との直接的な交流を中止し、書面での会議になっているが、地域の方や、ご家族様にご意見をいただけるようにとりくんでいる。	現在は書面による会議を2か月ごとに開催している。感染症対策、身体拘束、防災、外部評価などをテーマに設定している。今後、実際の会議ができる段階では、より幅広くテーマを設定し、資料も充実させて話し合いを行う予定としている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市へ毎月月初めに入居状況調査表を提出や依頼のきたアンケートなどで報告しております。	市役所等との連絡や相談は主にメールで行っている。市からのアンケート等の依頼に協力している。各方面からの研修生の受け入れ依頼があれば協力している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内で身体拘束委員があり定期的に委員会を開催している。また外部の研修などにも参加しております	身体拘束に関する3か月ごとの委員会と、年2回以上の勉強会を行っている。勉強会の記録や資料を、より適切に整理・保管する意向である。玄関への出入り口を施錠しているが、外出意向があれば職員が同行し、閉塞感を感じさせないようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修や施設内での勉強会で職員に虐待に関わる意識をもって頂き、管理者は注意を払い、防止に努めている		

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在成年後見制度の関わるケースが無い為具体的に関わることはありませんが、今後研修など通して学んでいきたいと思う。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族様と契約書の読み合わせを行い、質問等がありましたら、お答えしております。また退去の際など今度想定されることなど、お答えすることがあります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設の玄関に意見箱がありますが、投函されてはおりません。ご家族様来られる際、できる限りお話を聞かせていただくよう。また、運営推進会議など来られた際に意見を聞かせていただくことがあります。	電話のほか事業所の相談室や玄関で家族の意見を聞いている。相談の内容を、パソコン上の「相談」-「支援経過」の欄に記録し共有している。毎月、ユニットごとに利用者の写真を載せたホーム便りを作成し家族に送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の際などご家族様などからお話をお聞きしております。	月1回、全体会議とユニットごとの会議を行い、活発に意見交換している。管理者と職員は年4~5回の定期面談を行っている。職員は身体拘束廃止委員、防災、備品管理、行事などの業務を分担し、運営に参加している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回の評価や昇給試験を実施し職員の意思確認で各自が向上心をもって働けるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修が受けやすいように呼びかけ学びやすい環境になっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナウイルスの関係で交流などは出来ておりません		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前にご自宅や入院先に行き面談を行い、ご家族様やご本人の要望など聞いております。入所後どのような生活をしていきたいか聞き、相談しやすく安心して頂ける環境づくりにつなげている			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に管理者、職員とご家族様、ご本人とお会いし、生活歴、性格など伺い今後も安心して過ごせるようご要望に耳を傾けております			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に担当のケアマネさんや、ご家族様からお話をお聞きしてご本人様の性格や生活歴など把握したうえでできる、サービスの提供を伝えていく。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の出来る事を見つけ、役割を探し利用者様と職員との関係が築けるように努めております。今まで出来なかった事も他入居者様や職員と一緒にすることで関係を気づいています			
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活状況をご家族様に伝え、ご希望や思いを聞き日々の生活に生かしていく			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やご本人から馴染みの人や場所を伺っているが中々行けることや合うことが難しく、施設での職員や他入居者様と馴染みの関係になり安心して過ごせるようにしております	感染症流行前は2名ほどの利用者に友人が来訪していた。現在も友人や知人から電話が来た際は本人に取り次いでいる。現在は馴染みの場所への外出ができていないが、感染症収束後は本人の行きたい場所への外出を支援する方針である。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士楽しく生活できるようにする。レクリエーションなども行い職員が間に入りながら良い関係性を築けるよう心掛けております			

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時に今後の生活について話をお聞きしたり、また、その後気になる点がありましたら、お話を聞きするようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話から利用者様の思いなどを聞き出来る限りご希望の対応をできるようにする。会話が難しい方はこれまでの生活歴や様子を見ながらご本人様が望む生活を提供していきます	3割ほどの利用者は言葉で思いや意向を表出でき、難しい利用者も表情やしぐさから把握している。センター方式のアセスメントシートのほか、利用者の生活歴や趣味、嗜好などを記したシートを作成している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前にどのような生活をしてきたか伺い安心した環境で生活できるように努めております		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活の中で一人一人の生活リズムを考え、体調や心身状態の変化に配慮し日々の生活を提供。職員同士での送りの際も気づいた事は伝える		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一度のフロア会議で職員が気づいた点やご本人の望む生活、ご家族様の思いを聞きケアプランを作成しております	介護計画を3か月ごとに更新している。モニタリング総括表をもとにカンファレンスで意見集約を行い次の計画を作成している。日々の記録はパソコン上の「習慣」の欄に、計画目標に連動した内容を記載し、計画の見直しに活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活を記録し、職員が共有し全体を把握しております		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護計画以外でも、都度職員と話しをし、柔軟に解決していくようにしております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウイルスの関係で外出はできませんでしたが、天気の良い日に施設廻りを散歩を行いました		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様に往診医療機関を紹介している。その他入居前からかかりつけの医療機関の継続を行っています。	2つの医療機関によるそれぞれ2週に1回の定期往診があり、各利用者が受診している。内科以外の通院は家族または事業所で送迎している。受診内容を個人ごとにパソコンの「受診」欄に記載し共有している。	

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携や往診の看護師と相談を行いアドバイスをいただき参考にすることがあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際や入院中など、ご本人様の様子について、どう施設で過ごしていたかなどできる限りはやくお答えできるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様の意向をお聞きし、施設内でどこまでできるか、お伝えし、できる範囲での希望に添い、医療と連携を行いそして家族様含め話し合える機会を作っていきたいと思う。	利用開始時に「重度化対応に関する指針」を説明して同意書に署名捺印を受けている。急変時・終末期の意思確認書も受け入れしている。過去に看取りの事例はないが、今後は必要に応じて、できる範囲の対応を行う方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の際、連絡網やマニュアルに添い対応を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	施設内での避難訓練、地域連動の避難訓練を実施している。	昨年3月に夜間を想定した避難訓練を行ったが、その後の訓練は行えていない。また、3年以内に救急救命訓練を受けた職員は少なくなっている。地震の初期対応やケア場面別の対応についての確認も十分といえない。	年2回を目処とした避難訓練と、各職員3年に1回程度の救急救命訓練の受講が計画的に実施できるよう、取り組みを期待したい。地震対応マニュアルを参考に、初期対応やケア別の対応について定期的に確認することを期待したい。

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人の尊厳を大事にし、更衣や排泄時などプライバシーの配慮を行っております	日常的な声かけの口調や表現は管理者が直接アドバイスし対応できている。個人情報類は鍵の掛かる書庫で管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の意志を確認し、お手伝いや安心できる選択肢ができるよう働きかけております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の気持ちや身体状況に合わせて職員都合ではなく入居者様のペースに合わせて対応しております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝ご本に様に着たい服を選んでもらっています。髪型などもご本に希望のカットなどしております		

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りの際は盛り付けなどを入居者様にやっていただき、職員も一緒にやることにより楽しみながら行っております。後片付けの際も一人一人の状況に合わせて、お手伝いして頂いております	外部業者より搬入され、温めて提供している。行事に合わせメニューの変更が可能で季節感や楽しみを大切にしている。皿拭きや片付けは利用者と一緒にすることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に必要な水分量の把握、食事量の把握に努めている。食事が進まない時などは声掛けし召しあがって頂き、往診医に状況報告をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、実施しております。夜間帯は義歯をお預かりし洗浄剤につけております。歯科往診もあり配慮すべき点を把握しております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のタイミング確認しトイレ誘導や声掛けを行っております	排泄チェックシートにより排泄パターンを確認しトイレで排泄できることを大切にしている。おむつ類は個々の排泄状況や皮膚の状況に配慮して検討し使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝乳製品摂取していただいています。排便の間隔を記録しております。また医師の指示のもと、下剤の調整も行ったおります		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日で別れ週2回の入浴、ただし、体調や気分に合わせて時間や曜日変更を柔軟に行っております。しかし1名のみ声掛けしても入って頂けず、職員で試行錯誤しています	土曜日以外は毎日入浴でき、1人週2回は入浴できるようにしている。入浴がスムーズにできるよう、脱衣室で音楽をかけたり、湯の温度調節をするなどの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の体調や様子を見ながら日中も昼寝する事がある。また夜間帯は部屋の照明なども確認し、安心して寝て頂いております。寝つきが悪い方は、職員が寄り添う、話を傾聴したりしております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬提供の際は職員やご本人様に確認を行いミスがないよう提供しております。また医師の処方箋や往診、受診の際、説明などもしっかり聞き内容を職員で共有しております		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中でご自身で出来る事は行って頂いております。また入居者様との会話の中でそれぞれの思いを聞き提供出来る様にして頂いております		

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルスの関係で外出レクなどは出来ませんでした。	気候の良い時期は、近所の遊歩道の散歩や玄関前のベンチに座り外気浴を行っている。以前は花見や海岸へのドライブなどを行っており、感染症収束後は再開の意向である。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は施設で管理しております。外出レクの時のみそれぞれお財布を持って頂き好きな物を購入されます			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コロナウイルスもありご希望により電話をしてご家族様と関われる機会を提供しています			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた装飾をしております。職員が毎日清掃を行い綺麗な環境作りを心がけております	居間には大きな窓があり、明るく、小川や遊歩道が見えゆったりと過ごせるようになっている。壁には行事の写真や季節の装飾があり、エアコン・空気清浄機・加湿器が設置され居心地よく過ごせるようになっている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様の意見を取り入れ、ソファの位置や食席の位置を決めております			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使われていた家具などを持ってきて頂いております。ご本人の使いやすい配置に配慮しております	ベッドやタンス類などは自宅から馴染みの物を持ち込み居心地よく過ごせるようになっている。希望に合わせて居室内に自分の洗濯物を干せるようになっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレなどに手摺りを設置し安全に立ち上がれるように工夫しております。居室には表札やご自身の写真など貼り分かりやすい様にしております			



自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190201251		
法人名	社会福祉法人パートナー		
事業所名	グループホームハートの家七番館 2階		
所在地	札幌市北区屯田9条9丁目6-3		
自己評価作成日	令和4年2月5日	評価結果市町村受理日	令和4年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員同士話し合える時間を多く作り、業務の改善や入居者様の対応など、よりよくなるよう改善に力を入れている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyoNoCd=0190201251-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyoNoCd=0190201251-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和4年2月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域に根ざし、共に生きともに感じ合い、共に喜びあえる暮らしを創りつづける」施設開設時の理念を実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの感染対策で地域の方との交流が難しくなっているが、町内清掃や近隣の保育園との交流で直接的ではなくても、地域の方との連携を図れるように取り組んでいる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ感染対策の為地域の方との直接的な交流が出来ず、積極的な支援方法の提案などは出来ない。感染対策を実施しながら地域の人に向けて支援方法等を伝えていける方法を検討している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染対策の為地域の方との直接的な交流を中止し、書面での会議になっているが、地域の方や、ご家族様にご意見をいただけるようにとりくんでいる。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市へ毎月初めに入居状況調査票の提出、アンケート依頼への報告を実施している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全体へ向けて身体拘束を実施しないように虐待、身体拘束チェック表などを使いケアに対する考え方のすり合わせを行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人で虐待や身体拘束のリモート研修を実施し、学ぶ機会をもち、防止に努めている。		

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活支援事業や後見人制度について学ぶ機会を持っていない為会議などで学ぶ機会を検討している。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や改定時には利用者様やご家族様に、丁寧に説明し不安や疑問点など尋ね確認しやすいように努めている。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設にご意見箱を設置しているが感染対策で館内に入っただけで電話でご意見いただいている。すぐに職員間で共有し運営に反映されている。			
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談や会議で意見や提案を収集し反映させている。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回の評価や昇給試験を実施し職員の意思確認で各自が向上心をもって働けるように努めている。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修が受けやすいように呼びかけ学びやすい環境になっている。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナの感染対策で外部との交流を最小限にしている。			

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の事をまず知る為に困りごとだけではなく、楽しみや、嬉しいことなども会話から聞き取りできるように、関わる時間をとっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを利用される前に困っていることや不安な事をお聞きしておいて、サービス時にその不安が軽減できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に担当のケアマネさんや、ご家族様からお話をお聞きしてご本人様の性格や生活歴など把握したうえでできる、サービスの提供を伝えている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員とご本人様の関係で上下関係をつけないように関わっている、ご本人が気持ちよく暮らせるよう配慮している。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族が不安にならないよう、ご様子をお伝えしながら、相談に乗って頂けるように関りを築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ感染対策により、馴染みの人や場所との関係が築きづらくなっているが、写真やお電話などで関係が途切れないように努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自立度の高い方との関りが少なく成りがちなので関わり合いをもてるように努めている。		

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了時に今後も相談に乗れるようお声掛けしている。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご自分の意思を発せられない方でも、入居前に担当のケアマネさんや、ご家族様からお話をお聞きしてご本人様の性格や生活歴など把握し思いや意向を把握出来るよう努めている。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に担当のケアマネさんや、ご家族様からお話をお聞きしてご本人様の性格や生活歴など把握し思いや意向を把握出来るよう努めている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の会話や表情を観察し、現状の把握に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状の把握をし、ご本人やご家族様に相談、確認を行い介護計画を作成している。			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の活用と職員間の申し送りでの情報共有で迅速な検討に心掛けている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護計画以外でも、都度職員と話しをし、柔軟に解決していくよう取り組んでいる。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	感染対策を心掛け、出来る範囲で楽しい暮らしを提供している。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけの医療機関の受診を継続するかご希望を伺っている。希望がなければご家族様に往診医療機関を紹介している。			

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師の配置が無い為訪問診療時に相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設での生活を伝え情報の共有を行い、退院後の生活の相談に乗っていただいている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化する可能性が考えられた場合のご意向を入居時に確認している。重度化した場合に改めて御家族様のご意向を伺い、医療とも連携をとり支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に緊急時のシミュレーションを行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	感染対策で地域との関りを最小限にしているが近隣の施設と連携を図れるよう協力体制を築いている。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人の尊厳を大事にし、更衣や排泄時などプライバシーの配慮を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の意志を確認し、お手伝いや安心できる選択肢ができるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様のペースに合わせ、希望に合わせた支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様に選択して頂いて更衣を支援している。		

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	感染対策を心掛け、個々に合わせた食事準備を職員と一緒にしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事や水分の提供した物や摂取量を確認しながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ご本人様の状況に合わせた口腔ケア実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のタイミング確認しトイレ誘導や声掛けを行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝乳製品の提供。排便の間隔を記録し医師に相談し、下剤の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご入居者様の生活に合わせた入浴日を決め、入浴剤や音楽をかけ入浴を楽しめるよう支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の体調や様子を見ながら日中も臥床して頂く時間を作っている。また夜間帯は部屋の照明なども確認し、安心して寝て頂いている。寝つきが悪い方は、職員が寄り添う、話を傾聴している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬提供の際は職員やご本人様に確認を行いミスがないよう取り組んでいる。また医師の処方箋や往診、受診の際、説明などもしっかり聞き内容を職員で共有している。疑問があった場合医師に確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合わせた役割の提供、好みのおやつ等の提供等を実施している。		

グループホームハートの家七番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルスの感染対策で外出レクなどは出来ていない。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は施設で管理しております。外出レクの時のみそれぞれお財布を持って頂き好きな物を購入されます			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙だ御家族様にご様子を知っていただけるように支援している。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは毎日の清掃で清潔に、配色は白や木目で落ち着いた色を使用し、季節を感じて頂けるような飾りを装飾している。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファなどを幾つか配置し、ご自分のお気に入りのスペースを使用して頂いている。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していたなじみの家具や布団、家族で写っている写真などを持参して頂き居心地の良ように工夫している。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレなどに手摺りを設置し安全に歩けるように工夫している。居室には表札やご自身の写真など貼りご自分の部屋だとわかりやすく安心して入れるようにしている。			



目標達成計画

事業所名 グループホームハートの家七番館

作成日：令和 4年 3月 11日

市町村受理日：令和 4年 3月 24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設理念に地域との関りを表す文言が入っていない。	地域密着型サービスを意識したものを制定し共有と実践を進める。	施設開設時から法人理念として掲げていた理念が地域に根ざしていた理念だったので職員間で検討し共有と実践を進める。	1ヶ月
2	35	避難訓練が行えていない。地震の初期対応が充分でない。	年2回を目指した避難訓練と各職員3年に1回程度の救急救命訓練の受講が計画的に実施できるように取り組む。地震対応マニュアルを参考に初期対応やケア別の対応について定期的に確認する。	年間計画を立て計画的に実施できるように職員会議で確実にを行う。	3カ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。